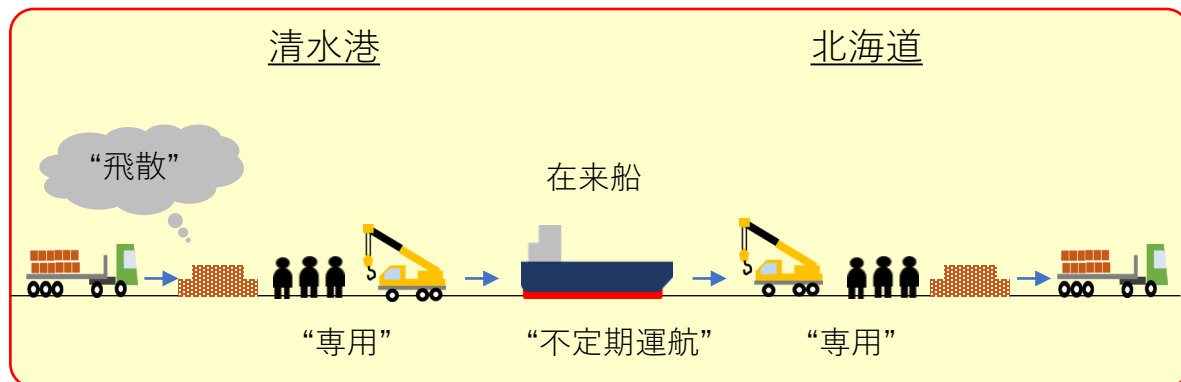


在来船(ばら積み) を コンテナ船 に切替え

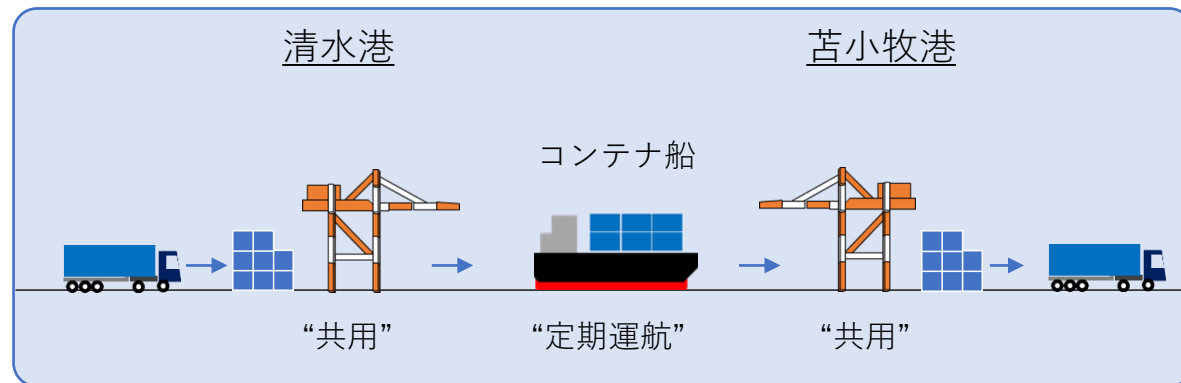
～ 環境負荷 & 固定費 を削減 ～

A社さまの燃料用廃プラスチックの輸送を、在来船利用からコンテナ船利用へ切り替えることをご提案。コンテナ利用でマイクロプラスチックの海洋流出リスクが低減。また、在来船1隻当たりの作業には大型クレーン2機、特殊フォークリフト4台、作業人員20名が必要となっていたが、公共コンテナクレーンの利用にシフトし、大型フォークリフトを1台に、作業人員を7名に削減することで手配人員の繁忙差を吸収し、固定費の大幅な削減を実現しました。

導入前



導入後



導入によるメリット

経済課題の解決

- ・ 重機・人員の圧縮で固定費を削減
- ・ 定期輸送化に伴う、海上運賃の価格変動リスクの低減

ESG

Environment

- ・ 公害防止 水密容器のコンテナが悪臭・飛散を防止
- ・ 海洋保全 マイクロプラスチックの海洋流出リスク低減
- ・ CO2削減 他貨物との混載で積載率UP＝効率運航を実現

Social

- ・ 労働環境改善 汎用機械作業で労働時間短縮 & 安全確保
- ・ 地域社会貢献 地方港同士を接続し流通経路を創出

Governance

- ・ 廃掃法遵守 コンテナ単位で追跡し不法投棄を防止
- ・ 労働関係法令遵守 長時間労働の削減